

[ホーム](#) | [社会](#) | [政治](#) | [経済](#) | [国際](#) | [スポーツ](#) | [芸能](#) | [東京情報](#) | [社説・コラム](#)[東京](#) | [神奈川](#) | [千葉](#) | [埼玉](#) | [茨城](#) | [栃木](#) | [群馬](#) | [暮らし・健康](#) | [科学](#) | [クルマ](#)[トップ](#) > [神奈川](#) > [1月23日の記事一覧](#) > [記事](#)

【神奈川】

みんなで論じる藤沢の未来 30日に市と慶応大学 『討論型世論調査』

2010年1月23日

藤沢市と慶応大学は二十二日、無作為抽出した市民約三百人に市の課題などを論じてもらう、討論型世論調査(DP)「藤沢のこれから」を、三十日に同大湘南藤沢キャンパス(SFC)で実施する、と発表した。討論内容は、二〇三〇年までの市の方向性をまとめた「新総合計画」(一一年度策定)などに反映される方針で、こういった取り組みは全国的にも珍しいという。(加藤木信夫)



「討論型世論調査」について説明する、慶応大学の曾根泰教教授(右)と海老根靖典藤沢市長＝藤沢市役所で

DPの日本の第一人者・曾根泰教同大教授と海老根靖典市長

が、市役所で会見した。

曾根教授によると、DPは、アンケートによる世論調査の後、これに応じた中から数百人規模の討論者を募り、数日を費やして議論を深める。

一九九四年に英国マンチェスター市で初めて行われ、これまで「アボリジニ政策」(オーストラリア)、「大統領の人選」(ギリシャ)、「風力発電の是非」(米国テキサス州)などで採用。県も昨年十二月に研究事業として「道州制」をテーマにDPを実施した。

アンケートでは探れない、市民の本音を吸い上げる手段として高く評価されているという。ただ、討論者に支払う数千万円単位の宿泊費、交通費などがネックとなり、日本では見送られてきた。

そこで曾根教授は、討論日を効率よく一日に圧縮した「日本版DP」を作成。今回、この手法に藤沢市が手を挙げた。市の負担額は五百万円。昨年十二月、市民三千人に実施したアンケートの発送・作成料、SFCへのデータ処理依頼料、討論者への謝礼(一人五千元)など、DPにかかわる全経費が含まれているという。

三十日のDPは、午前九時半から午後五時半まで。十五人程度のグループ討論に続いて全体討論を行う。質問に答える各分野の専門家も列席する。

海老根市長は「話を聞ける機会の少ない子育て世代、若い世代も数多くいて、ありがたい。皆さんの意見を最大限、尊重させていただき、市民主権の市政を進めていきたい」と話している。

 [この記事を印刷する](#)